青字・**赤字**は留意事項又は記載例です。

提出の際にはすべて必ず削除して下さい。

# 研究開発体制説明書

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

**１　研究開発の分担体制及び主要研究設備**

本研究開発を実施するための平成28年4月1日以降の研究体制（所属機関、役職等）や研究設備を記入してください。

研究設備については、様式5（研究開発予算計画書）に計上する研究設備（購入設備及びリース）、様式5（研究開発予算計画書）に記載しない自費などで調達する研究設備（自費調達設備（リースを含む。））、既存設備等の別に記入してください。

自費調達設備（リースを含む。）及び既存設備については、担当機関名を明記してください。また、様式5（研究開発予算計画書）に計上しない人件費（人件費×エフォート率）及び設備備品費の各機関の負担額合計と総計を明記してください。

なお、研究代表者、研究分担者のいずれも所属しない機関の研究補助者や研究設備は含めないでください。

（記入例）

研究代表者：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授）

①○○に関する研究

担当：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授）

霞ヶ関　花子（株式会社＊＊研究開発部主任）

研究補助者（××大学○○名）

主な研究設備：○○○○（リース）

○○○○（購入設備）

○○○○（自費調達設備） 株式会社＊＊

○○○○（既存設備） ××大学

②××に関する研究

担当：通信　一郎（＋＋株式会社企画部部長）

虎ノ門　次郎（××大学大学院工学研究科助手）

研究補助者（××大学○○名）

主な研究設備：○××○（購入設備）

○××○（リース）

○××○（既存設備） ＋＋株式会社

 負担額　××大学 230万

株式会社＊＊ 450万

＋＋株式会社 100万

総計 780万

**２　連携研究者に係る情報**

本研究開発において、共同研究等により連携研究者が研究開発に協力する場合は、当該連携研究者に係る情報を記載してください。なお、連携研究者はSCOPEに係る委託費を使用することはできません。

また、連携研究者との間で、共同研究契約を締結する等知的財産権の取扱いについて取り決めを交わす場合には、研究開発委託契約書第35条及び知的財産権確認書（研究開発委託契約書様式１１）の規定を妨げることがないようご留意の上、各機関の責任の下、適切にご対応ください。研究開発委託契約書及び知的財産権確認書については、以下のURLをご参照ください。）

（http://www.soumu.go.jp/main\_sosiki/joho\_tsusin/scope/document/document.html）

（記入例）

①△△に関する研究

　総務　二郎（××大学大学院工学研究科教授）

　虎の門　花子（株式会社＊＊研究開発部主任）

②※※に関する研究

　通信　二郎（＋＋株式会社企画部部長）

　虎の門　一郎（××大学大学院工学研究科助手）

**３　その他**

①研究開発体制を説明する上で参考となる情報（例：「日本学術振興会 博士課程教育リーディングプログラムに採択されている」、「文部科学省 地（知）の拠点整備事業に選定されている」、「地域イノベーション戦略推進地域の構成機関である」等）があれば記入してください。

②平成27年度中に所属機関の異動、研究分担者の追加、変更などがあった場合は、その旨を記入して下さい。